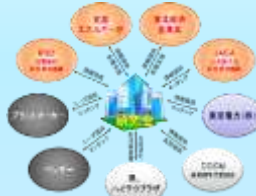


【ネットワーク構築】

- 廃炉・除染ロボット技術研究会（約110機関）を中心とした産学連携



- 医療福祉機器研究会（約250機関）による産学連携

【県内企業等の技術力向上】

- ロボット関連産業基盤強化事業《商工労働部》 ※中小企業向け
- ロボット技術開発支援事業《企画調整部》 ※大学向け

【研究開発の推進】

- 災害対応ロボット産業集積事業（国費）《商工労働部》
- 農林水産業支援ロボット開発促進事業《農林水産部》
- 医療福祉機器等開発ファンド事業（国費）
- 国際的先端医療機器開発実証事業（国費）



【先進企業などとの販路開拓】

- 展示会・商談会
 - ・コーディネーター設置
 - ・廃炉カンパニー、プラントメーカーなどとの取引仲介

◎ 量産に向けた工場新增設・設備投資への支援、関連産業の集積（企業立地補助金、医療福祉機器実証・事業化支援事業、ものづくり補助金（国費））

普及・啓発
人材育成

ネットワーク
の形成

研究開発
技術支援

現場導入
支援

取引拡大
・量産支援

情報発信

【普及・啓発】

- ふくしまの未来を開くロボットフェア開催事業《商工労働部》 等によるロボットへの理解の全体的な促進

【人材育成】

- 産業人材育成に関する支援
- 福島大学、会津大学、工業系高校、テクノアカデミー、高専等との連携・協力



※研究開発から市場化まで「死の谷」

【現場への導入】

- 介護施設、病院、企業などへのロボットの導入の促進《企画調整部・保健福祉部》
- ※県内企業発ロボットの導入を促進
⇒ロボットの地産地消

これを埋めるには、行政が需要を喚起する必要



地元ロボット関連産業の振興
+
ロボット活用による県民生活の質の向上

【情報収集・発信】

- 先進事例や得られた成果、推進状況の国内外への発信《企画調整部》



※赤字：チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業で実施する事業



結び付けて進化

イノベーション・コースト
構想の5つの柱

- ① 国際的な廃炉研究開発拠点
- ② ロボット研究・実証拠点
- ③ 国際産学連携拠点
- ④ 新たな産業集積
- ⑤ インフラ整備

「ふくしまロボットバレー」の形成

(参考)ロボットの種類と応用可能性

分野 種類	廃炉	災害対応	介護福祉・医療	農業	その他	今後の開発課題
遠隔操作ロボット	 ・除染作業  ・水中遊泳	 ・ロボットスーツHAL マスタ ・自走式双腕ロボット  ・4腕式極限作業 ロボット	  ・手術支援ロボット	 ・無人トラクター  ・無人田植機	 ・単純作業ロボット  ・双腕型ロボット	✓ 上空からの俯瞰映像(3D) ✓ 指先の細やかな動作を 可能とする ✓ 触覚(圧覚・振動覚・温度 覚)の伝達 ✓ ソフトウェアの標準化
無人監視ロボット 無人ヘリ	 ・原子炉建屋内撮影 ・放射線量調査	 ・災害状況の撮影 ・3次元データ取得	 ・ロボティック病室	 ・農作物の生育状況 調査 ・鳥獣害の防止	 ・防犯の監視	✓ 画像処理技術 ✓ 制御性の高い空中ロボット ✓ 制御技術 ✓ ソフトウェアの標準化
アシストスーツ	 ・福島第2原発で 動作検証	 ・災害対応のほかアス ベスト処理を伴う現 場での活用	 ・医療用ロボットスーツ HAL	 ・農作業の負担軽減	 ・重量物を運ぶ作業の 負担軽減	✓ 軽量化 ✓ 低コスト化 ✓ 運用実績の蓄積 ✓ ソフトウェアの標準化
対話型ロボット		 ・避難者アシスト ロボット	 ・心理的ストレスの軽減、精神的な好作用		 ・訪問者の案内や巡回 監視など	✓ 自然言語・音声の会話 ✓ 人間の動作認識 ✓ ソフトウェアの標準化